

第47回四国理学療法士学会を終えて

こくぶ脳外科・内科クリニック 鶴川裕司

2018年12月1日(土)～2日(日)の2日間、第47回四国理学療法士学会が小笠原正会長(近森病院)のもと、高知県立県民文化ホールにて開催され、参加、発表をさせていただきました。

本学会のテーマは「原点回帰」で、理学療法士に何が求められ、果たすべき役割は何かを再考するものでした。今後、確実に訪れる超高齢化社会で理学療法士による疾病予防の重要性を説かれる場面が多く、特に認知症に対する理学療法という内容が特別講演やランチオンセミナーにも見られ、社会の認知症に対する関心の高さを感じました。そんな中、当院でも3年前から外来患者に対して、運動療法による認知症予防を行ってきました。しかし、その方法には確立されたものは無く、開始当初は試行錯誤の連続でした。特に認知症やその危険性のある方の大半は運動習慣や意欲が低く、渋々、家族と共に外来に通院している状況であった為、運動を継続させることが最も難しい課題でした。

そこで、運動が簡易で短時間でできる全身振動トレーニングに着目しました。もともとはスポーツ選手など身体機能の高い方が効率的に筋力増強を図るものとして流通していましたが、その効率性や簡便さを運動習慣の無い方にも応用、工夫をした結果、高い継続率で運動を習慣化することができました。またその効果も、認知機能の改善のみでなくMRI上での脳萎縮にも変化が現れたため、「認知症予防の新たな試み」というテーマで発表することができました。100名以上の1年間の経時的変化を追った前向きコホート研究であった為、非常に時間を要しましたが、高齢化社会に対応した理学療法を行えているという実感から非常に充実した発表ができました。今後はこれを論文化し、さらに多くの方に見ていただき、日々の臨床に役立つ知見になるよう努力していきます。

今後、発表を考えている新人理学療法士の皆様へのアドバイスとして、常に新しいことに挑戦して、その結果を世間に評価してもらおうという作業を繰り返すことが大事だと思います。しかし、一人では絶対にできないことなので、良い指導者や先輩に巡り会えるように様々な学会や研修会に出向いて、良い出会いを心がけてください。

職業性腰痛予防講師育成研修会に参加して

有料老人ホームはまひるがお内海 藤井 洋

昨年の6月17日に広島で開催された職業性腰痛予防講師育成研修会(STEP1)に県士会より参加させていただきました。研修の目的は、産業保健分野における労働者の腰痛予防対策において、理学療法士が専門性を生かし関わりを持ち、社会貢献と職域の拡大につなげていくことです。具体的には、腰痛に対する基礎知識と実際の作業現場への介入内容について、介助(移乗)方法の実技指導について学びました。

腰痛は、生涯で成人の約80%が経験すると言われています。また、腰痛による休職や離職も多いといった報告もあります。私も現在、介護施設で勤務していますが、介護職員や看護師から腰痛の訴えをよく耳にします。更衣・入浴介助、移乗(トイレ)動作などにおいて過剰介護であったり、シーツ交換や掃除場面での不良姿勢での動作であったりが多く見受けられます。その都度、介助量や介助方法についてアドバイスをしています。しかし、限られた人員で業務に追われ、余裕のない中で一時的に改善されても、持続していくことの難しさを実感しています。また、これまで行ってきた介護スタイルを変えることへの抵抗感や戸惑いも感じます。私自身、他の職種間で共有される業務においては、強制的な指導にならないよう配慮しており、指導後のフォローも必要だと感じています。

今回の研修会で学んだことを活かし、職員の腰痛による苦痛を軽減し、多職種が連携して利用者様の自立支援に向けた介護に繋げていきたいと思えます。

事業所紹介

坂出聖マルチン病院 通所リハビリテーション

訪問リハビリテーション 藤森友也

当院は坂出市にある笠山のふもとに位置し、病院業務に加え通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション・サービス付き高齢者住宅・訪問介護などの事業を坂出市・宇多津町を中心に行っております。

通所リハビリテーションは平成29年に開設し、理学療法士と作業療法士合わせて計6名で業務を行っています。6～7時間の長時間サービスに加え、1～2時間の短時間サービスを午前

/午後の2回提供しており、利用定員は計55名とし、1日平均50名程度の方が利用されています。両サービス共に自立支援を目的とした日常生活援助とリハビリテーションを行っており、個別リハビリテーションとマシンリハビリに加え自主トレーニングを積極的に導入しています。特に自主トレーニングについては、「運動をする習慣を身につけることができた」「家での運動方法が分かった」などと好評をいただいております。又、『心』『身』機能へのアプローチを目標に認知面、高次脳機能に対する訓練課題も複数導入し、利用者様へ理学・作業療法士の視点での多角的アプローチを行えるよう心がけています。



訪問リハビリテーションでは、退院して間もない方から在宅で終末期医療を受けている方まで幅広い分野でリハビリテーションを実施しています。近隣の病院やケアマネージャーとの連携、家族とのコミュニケーションを密に取ることでより充実したサービスを目指しています。

現在坂出市の高齢化率は35%を超え、中讃エリアでは最も高齢化率は高い状況です。これからも高齢者の方々が住み慣れた町で日々生活を送れるよう、研鑽に努めたいと思います。



ロゴマークのご紹介

事務局長 清川敏郎



2017年にロゴマークのデザインを広く公募し、応募作品の中から理事会による厳正な審査の結果、このロゴマークを香川県理学療法士会のシンボルとして使用することに決定しました。

このロゴマークは、平和と充実の象徴である県花・県木「オリーブ」を中心に据え、香川の「川」の字を流れるようにあしらえたデザインとなっています。

創立50周年を向かえた2018年より採用しています。香川県士会の関連行事でのご利用の際は事務局までご連絡下さい。

理事会報告

第6回理事会

場所:ユーブラザウたづ 研修室1

日時:平成30年11月16日(金)19:00~21:00

出席者:理事)横倉、高橋、藤井、清川、大西、梶原、田岡、

永岡、宮崎、森田、矢野、山田

監事)川本美有紀

議題

1. 士会創立50周年・法人設立20周年記念式典・祝賀会(高橋)
11月3日に開催された記念式典、講演会、祝賀会の出席人数、収支などの報告
2. 内規(事業中止規定、会費減免・被災見舞金等の支給)(横倉)
事業中止規定一承認。本日より施行。
会費減免、被災見舞金等の支給に関する規定については、日本理学療法士協会の規定をもとに天災による被害に見舞金などを支給するかを検討。継続審議。
3. 士会事業部購入品の保管と取り扱い(宮崎)
継続審議
4. 表彰検討委員会報告(高橋)
第47回医療功労賞に鍋坂前会長は推薦には至らなかった。
日本理学療法士協会協会賞に横倉会長を推薦する。
香川県知事表彰に横倉会長を推薦する。
5. 全国学術研修大会in徳島への援助(横倉)
紹介リストを作成する。
6. 協会指定管理者研修担当者(横倉)
担当者に梶原理事を追加する。来年度からは事業として委員会または事業部とし、予算をたてて活動してもらう。
7. 2019年度介護支援専門員法定研修指導者推薦(横倉)
木下先生に加え、大西理事、松下先生を推薦する。

8. 職業別腰痛予防講座の開催(田岡)

1月13日に開催。今回の受講者は県士会会員のみとする。

9. 香川県地域包括ケアシステム学会発起人名簿への掲載(藤井)

香川県地域包括ケアシステム学会の発起人名簿への当会の掲載を承認。

10. 四国理学療法士学会連絡協議会(横倉)

横倉会長、高橋副会長、藤井副会長、片岡学会部部長が出席。

11. ダイハツ共同事業の窓口(藤井)

2019年度は東かがわに加え、丸亀のダイハツと共同事業を行う。窓口はこれまで通り阪本病院に願います。

12. 第24回県学会応募演題における類似演題に関する検討(森田)

他学会と類似した演題応募があったが演題採択とする。学会部にて今後の取り決めを検討。

報告

1. 各事業部、委員会、二次医療圏ブロック

①事務局、総務部事業報告 10～11月(清川)

現会員数1,076名、入会申請中6名、会員停止中2名

②災害対策マニュアルの報告(山田)

リハビリ3団体合同災害対策研修会の事業計画。香川県理学療法士会災害時対策マニュアルの草案報告

③第49回四国理学療法士学会準備状況(矢野)

日程:2020年11月28日、29日、会場:レクザムホール

2. 田中まさし個人カード集計状況と今後の方向性(永岡)

3. 第2回かがわ脳外傷リハビリテーション講習会実行委員会報告(横倉)

4. 香川県社福士会創立二十五周年、公益法人移行記念式典、講演会、祝賀会(横倉)

横倉会長が出席予定

5. 平成30年度第2回医療介護連携ミーティング(横倉)

高橋副会長が出席予定

6. 県議会一般における知事発言について(横倉)

四国新聞記事の紹介

7. 香川県地域包括ケアシステム研究会第2回設立準備会(藤井)

8. 平成30年度都道府県士会理事育成研修会(永岡)

第7回理事会

場所:渡海屋

日時:平成30年12月18日(火)19:00～20:00

20:00～22:00 協会役員との意見交換会

出席者:理事)横倉、高橋、藤井、大西、梶原、澤田、田岡、永岡、

宮崎、矢野、山田

監事)十川秀樹

協会役員)森本榮(日本理学療法士協会副会長)、

山本克己(兵庫県理学療法士会副会長)

議題

1. 入会承認依頼について(横倉)

1名入会承認

2. 内規(会費減免・被災見舞金等の支給)について(横倉)

担当理事不在のため繰越継続審議。

3. 士会事業部購入品の保管と取り扱いについて(宮崎)

繰越継続審議。

4. 全国学術研修大会in徳島への援助について(横倉)

賛助会員12社承認。

5. 協会指定管理者中央研修会(職域別)世話人推薦(矢野)

生活期:岩井伸幸(いしかわ訪問看護ステーション)、地域包括ケア病棟:高木善法(まろがめ医療センター)、急性期:梶原亘弘(三豊総合病院)一承認。回復期は高松協同病院より選出予定。

6. 第1回香川県JRAT研修会収支予算案・事業計画の承認依頼(山田)

2019年10月20日香川県3士会の主催で開催する研修会について講師および予算とも承認。研修会の名称は再度検討。

7. 賛助会員の入会承認依頼について(横倉)

徳武産業株式会社より申込み申請あり。入金確認後承認。

8. 臨床実習指導者研修会中央研修会受講者推薦(高橋)

穴吹リハビリテーションカレッジより3名、四国医療専門学校より2名、永岡誠司(西日本ファーマシー)、阪本病院より1名(藤井副会長推薦)にて承認。

9. 健やか香川21ヘルスプラン県民会議出席報告(横倉)

11月13日横倉会長が出席。

「マイチャレかがわ!」の推進に協力し、研修会等で配布する。

10. 香川県医療推進協議会役員会への出席について(横倉)

2月25日JRホテルクレメント高松にて開催予定。横倉会長が出席予定。

11. 香川県薬剤師会設立70周年記念県民公開講座後援依頼および出席について(横倉)

1月27日JRホテルクレメント高松にて開催予定。横倉会長が出席予定。後援名義使用、会員への周知について承認。

12. 香川県摂食・嚥下障害研究会第16回講演会後援依頼および出席について(横倉)

3月2日香川県社会福祉総合センターにて開催予定。後援名義使用、会員への周知について承認。

13. 第6回在宅医療コーディネーター養成研修会・公開講座の会員への周知について(横倉)

1月27日香川県社会福祉総合センターにて開催予定。

14. 第3回かがわ脳外傷リハビリテーション講習会実行委員会(横倉)

12月16日に横倉会長が出席。

15. 香川県地域包括ケアシステム学会設立記念大会(藤井)

1月13日レクザムホールにて開催予定。

広報部からのお知らせ

広報部長 南田義孝

広報部では、香川県士会ニュース配布方法変更へのご協力をお願いしております。用紙やCD-Rでの配布をメール配信に変更できれば、コストの削減につながると考えております。お陰様で少しずつメール配信が増えてきております。

ニュースのメール受信準備が整いましたら、メールアドレスを下記の県士会事務局 清川事務局長 までお知らせ下さい。

事務局:TEL 0877-41-2330 FAX 0877-41-2332

E-Mail:kpt@shikoku.ne.jp

厚生部からのお知らせ

厚生部長 柳原弘規

慶弔費の申請手続きは厚生部が行います。以下の事項が発生した場合は、90日以内にご連絡ください。その際、送金は銀行振込になりますので、口座番号を柳原までお知らせください。

- 1) 会員が結婚した場合
- 2) 会員が死亡した場合
- 3) 会員が一カ月以上入院した場合

おさか脳神経外科病院 柳原まで

TEL 087-886-3300

賛助会員広告



あるくたのしみ
あゆみ

TOKUTAKE

徳武産業株式会社
さぬき市大川町富田西3007
TEL:0879-43-2167

編集後記

インフルエンザが猛威を振っています、会員の皆様の体調は大丈夫でしょうか。

今号では四国理学療法士学会と腰痛予防講師育成研修会について投稿頂きました。鶴川先生からは新人理学療法士へのアドバイスも頂いており、これから発表を考えている新人の先生方にはよい刺激になったのではないのでしょうか。

平成最後の年を全力で頑張りましょう。 (木村)